

# 学励コース「医療専攻」たより



新潟県立新潟西高等学校 Vol.8 平成28年2月5日

医療業務に携わる人材(看護師・保健師・医療検査技師・診療放射線技師等)育成のための進学指導を行います。→ 新潟大学医学部保健学科、新潟県立看護大学、新潟医療福祉大学、新潟青陵大学等の進学を目指します。

〇12月25日(金) 医療講演会13:30~15:30 会場:本校社会科教室

講師:佐藤信枝先生(新潟医療福祉大学教授) 演題:『医療事故・現在の医療が抱える問題』

今回は医療専攻2年生の今年度の最終講演会でした。医療の暗くて重い問題点について御講義いただきとともに、グループワークも御指導いただきました。休憩なしの活気に溢れた120分間でした。



【笑顔と情熱溢れる佐藤先生】



【グループワーク】

12月25日(金) 当日の流れ:

13:30~15:10 講義(グループワークを含む)

15:10~15:30 質疑応答

## 【講義内容】

- ① ハイน์リッヒの法則
- ② ヒューマンエラー
- ③ 人はなぜ間違いを起こすのか?
- ④ 意識フェーズと人間の信頼性
- ⑤ 心理的特性の一例・「リングルマン効果(社会的手抜き)」
- ⑥ プロフェッショナルエラー
- ⑦ エラーと事故との関係
- ⑧ 医療事故・医療過誤
- ⑨ 医療事故における「してはならないこと」と  
「すべきこと」とは?
- ⑩ 医療行為に関連した事故・医療行為に関連しない事故
- ⑪ 「してはならないことをしない」・・・間違いによる事故を防ぐ3ステップ
- ⑫ 今まで実際に起こった医療事故・・・輸血ミス事例・・・「スノーボール」理論
- ⑬ まとめ・・・医療職を目指す人の心構え



【熱心に受講する2年生14名】

## 【生徒の感想】

今回の講演では、医療事故が起こる原因からその結果どのような事が起こってしまうのか、またそれを起こさないためにはどうすれば良いのかなど、現在の医療が抱える問題について詳しく学ぶことができた。これらは、医療の現場に限らず、実生活でも使える知識であった。責任が大きい医療従事者を目指していく上で、今回得た教訓を応用して役立てていこうと思う。

(2年生男子生徒・看護師志望)

今回の講演会は「事故」という初めてのお話で、緊張しました。起こしてはならないけれど、どうしても起こってしまうのが事故というもので、その事故にも色々な種類があるということがわかりました。特に「リングルマン効果」というのが印象に深く残りました。今の医療の現場では薬のダブルチェックは必須なので、このダブルチェックはいいことなのに、自分の力が出し切れないのなら逆効果ではないのかなと思いました。しかし、「一人一人が自分だけで看護をしているという気持ちでいけば、ミスも少なくなるし・・・。」とも思い、難しい問題だなあと思いました。

(2年生女子生徒・看護師志望)

今回、実際に起きた医療事故の事例として、「手術をする患者の間違い」や「点滴に水道水を入れてしまった事故」などの信じられないようなお話を聞き、とても怖くなりました。また、患者さんが、起こした事故については、事故を未然に防げなかった看護師の責任だということにも驚きました。事故を起こさないために、3回以上指さし、声出し確認をすることの大切さを学びました。

(2年生女子生徒・看護師志望)

正直、今までの講演に比べてお話が難しく感じました。重い内容だからかもしれません。私の解釈は、「医療事故はあってはならないもの。でも、人間は誰だってミスをするから、起こってしまうもの。でも、確認を声や身振り手振りでしたり、連携をとることで、少しでも防ぐことができるものだ。」ということです。また、「スノーボールモデル」という、だんだん雪玉が大きくなって、最後に患者さんに当たってしまうという説明が納得できました。大学で4年間学び、現場で3年間学んで、7年がかりでやっと一人前の仕事ができるとお話してくださいましたが、看護師は経験が大切なので、「一生、学ぶ。」とわかりました。

(2年生女子生徒・看護師志望)

お話をお聞きして、医療事故は脳での間違いと、雰囲気での間違いがあることがわかった。どちらにしても、事故を起こそうとは思わなくても身体がエラーを起こして気づかずにやってしまうと聞き少し怖いと思いました。そのために患者さんに投与する薬など口で何回も確認したり、複数人で確認することが重要だと理解できました。病院内でどこが危険か、何が危険かということも患者さんのことを思って事故が起こる前に意識したいと思いました。僅かな間違いが重大事に発展するので良い医療従事者になるために、常に自分を磨いていきたいと思えます。

(2年生女子生徒・助産師志望)

## 平成27年度「第3回医療専攻発表会」御案内

- 1 目的： 「医療専攻」第3期生として、1年生～2年生の医療専攻プログラムを通して学習したこと・考えたことを各人が発表し、将来、医療従事者として活躍する決意を新たにします。
- 2 日時・場所： 平成28年3月24日(木) 新潟西高等学校  
第1部 13:00～14:50 視聴覚教室(特別教室棟4階)  
第2部 15:00～15:30 社会科教室(特別教室棟3階)
- 3 内容： 第1部 パワーポイントを使っての生徒14名の口頭発表会(110分)  
挨拶・御紹介等10分 + 発表70分(5分×14人) + 講評30分  
第2部 ポスターセッション(30分)
- 4 参加者： (講評) 新潟大学医学部保健学科 看護学専攻 有森 直子 教授  
(発表) 2年生学励コース医療専攻生徒 14名  
(招待) 発表者の保護者、今まで講演・見学を依頼した大学及び病院の関係者、「医療専攻たより」を発送している中学校関係者、本校PTA役員・後援会役員  
・学校評議員、報道各社をお招きして実施します。

